

Workplace Pride Japan Conference 2022

ご来場いただき、まことにありがとうございました。



The Future is Now

LGBTIQ+ Workplace Inclusion in Japan

30 September 2022

Organiser : Workplace Pride

Host: accenture

Co Hosts: Kingdom of the Netherlands, Kraft Heinz, Unilever

Supporters : iff, AVERY DENNISON, NOKIA, kyndryl, sodexo

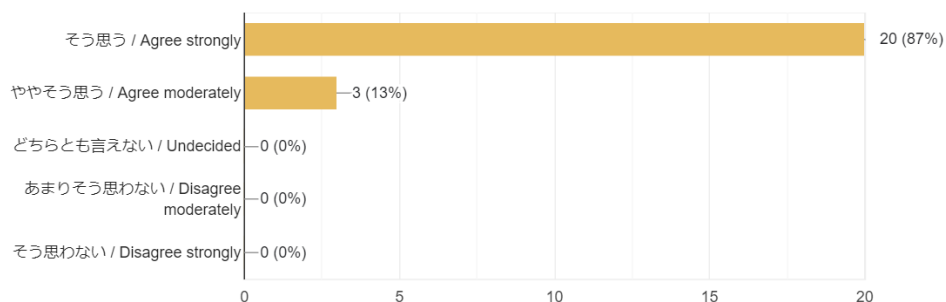
2022年9月30日（金）、Workplace Pride Foundation は「職場における LGBTIQ+ インクルージョン」をテーマとした終日会議を Accenture Innovation Hub Tokyo にて開催しました。定員 100 名様のところ満席となり、登壇者様・参加者様とも活発に議論にご参加いただきました。長引くコロナ禍の中、対面での会議を開催することに不安もありましたが、多くの参加者の皆様から、「熱量に感動した」「異業種の DE&I 担当者に出会えて、貴重な機会になった」など、嬉しいフィードバックを頂戴いたしました。また、会議後のアンケートにおいても、高評価を頂戴することができました。（参加者 100 名様、有効回答 23）

会議に参加することで、職場における LGBTIQ+ インクルージョンとビジネス成果の関係性に関する理解が深まった。



The conference helped me understand the relationships between LGBTIQ+ people in the workplace and business performance.

23 responses



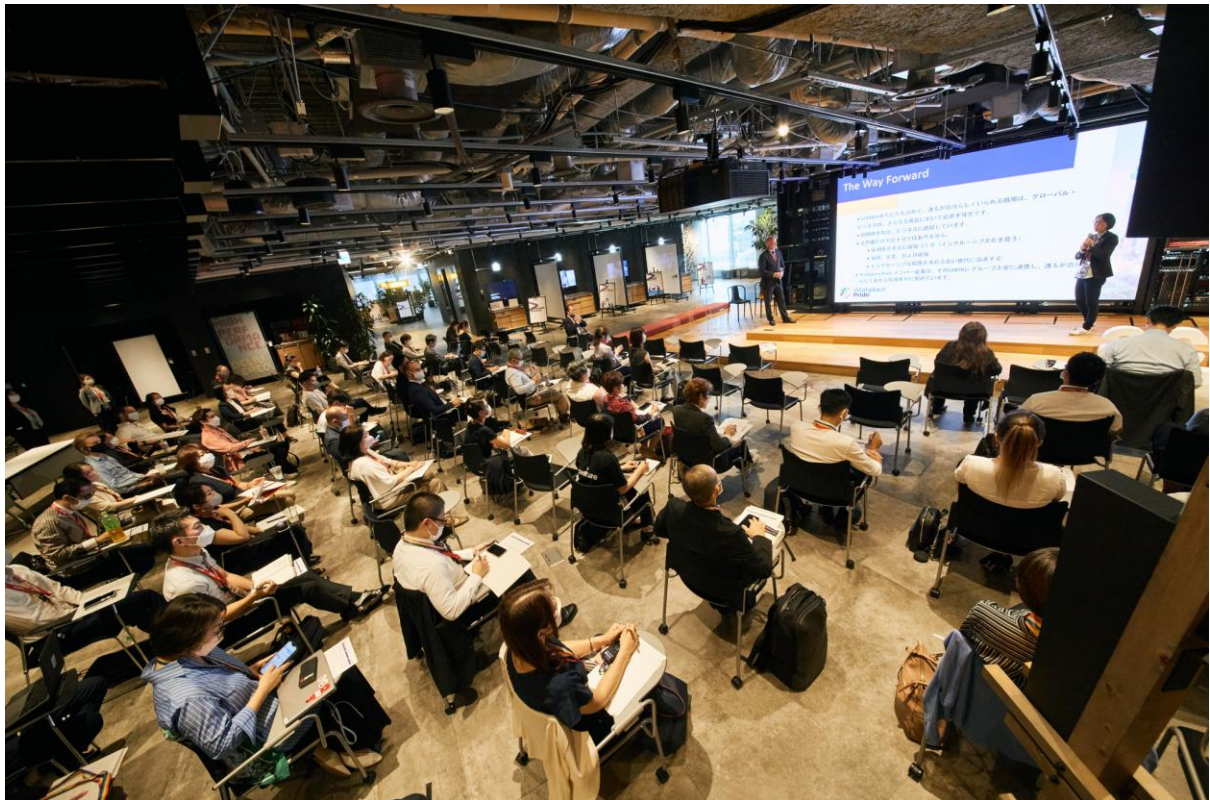
Workplace Pride メンバー企業様を中心に参加者様を募りましたが、口コミからか、メンバー企業様ではない企業様からも多くの参加者様にお集りいただきました。あらためてお礼申し上げます。

開会のご挨拶を堀江章子様（アクセンチュア）より賜りました。アクセンチュア様におけるダイナミックな取り組みを詳細にご紹介いただきました。また、「なぜダイバーシティーとインクルージョンがアクセンチュアにおいて優先事項か」について、いかに他社とサービス面での差別化を図る上で重要であるか、詳細にご説明いただきました。ジョイ・ホー様（ユニリーバ・ジャパン）の基調講演では、ご自身の個人的な経験をベースに感動的なスピーチを賜りました。ユニリーバ様がなぜグローバル企業としてエクイティー（公平性）を重視し、社員にその重要性を教育・浸透させる努力を惜しまないのか、とても分かりやすくご説明いただきました。残念ながら会場に来ることがかなわなかった、ジェニー・リー様（クラフト・ハイツ）からは応援ビデオメッセージをいただきました。企業理念に基づいた、多様性の重要性についてのメッセージをお送りいただきました。また、クラフト・ハイツ様における LGBT への取り組みなどについてもご紹介いただきました。

また、嬉しいサプライズゲストにもお越しいただきました。ロベルト・ダイクグラーフ（オランダ王国 教育文化科学大臣）が来日しており、弊団体の会議を知るにつれて「ジェンダー平等をその優先事項とする政府の代表としてぜひ参加したい」とメッセージがあり、会議でのスピーチが実現しました。科学者でもある大臣には、LGBTIQ+ インクルージョンだけではなく、あらゆる社会の変化においては結果だけを見るのではなく、そのプロセスを緻密に分析する重要性についてお話しいただきました。

午前のパネルディスカッションでは日本における婚姻の平等の実現が、いかにビジネスに影響を及ぼすかについて、福地敏行様（日本 IBM）、アレキサンダー・ドミトレンコ（アシャースト法律事務所・LLAN 共同理事）、ジンジャー・グリッグス様（エーエスシー リーダー）にご登壇いただきました。同性カップルだけではなく、多様化する家族に対する理解と企業支援がなぜ重要であるか、法制度が追いつかない分、企業でできること（福利厚生など）についても踏み込んだお話しをいただきました。また「婚姻の自由」が、いかにその社会の成熟度と関連するのか、具体的な例を挙げてお話しいただきました。日本において「誰もが誰とでも自由に婚姻できる」制度作りが急がれる、なぜならば国際社会で競争できる優秀な人材が日本を「避ける」もしくは日本を「出て行く」というような、人材の流出につながるという大きな懸念がある。これはビジネスにとっても無関係ではありません。

村木真紀様（虹色ダイバーシティー）様からは、日本の職場における LGBTIQ+ がおかれる現状について、詳細なレポートを共有していただきました。過去 10 年にわたり、行政・司法、企業がどのように動いてきたかを詳細にご説明いただきました。



分科会のオプションは4つありましたが、それぞれのテーマで参加者様にも積極的に議論に参加していただきました。いくつか、参加者様からの声をご紹介します。

「なぜ取り組む必要があるか、数字を用いて論理的に説明することで、社内の意識を変える一歩になると感じた」

「3日くらい合宿で実施したくらい、濃い内容だった。登壇者だけではなく、参加者も意識が高い方々ばかりで、とてもよい刺激になった」

「日本の社内でも、リーダーシップレベルでフォーカスしていくべき事項と認識を新たにすべく、素晴らしい機会になった」

松中権様（グッド・エイジング・エールズ）からは、ご自身の経験も踏まえて、なぜ職場における LGBTIQ+ インクルージョンが重要であるかについて、熱いメッセージを頂戴しました。また、松中様は企業レベルのみならず、社会の中にも LGBTIQ+ インクルージョンのうねりを巻き起こす活動をされていらっしゃる。会議に参加された皆様からも、「企業という枠を超えて、社会的な変化を起こす潮流に賛同し、サポートする重要性を感じた」といったコメントも頂戴しました。

午後のパネルディスカッションでは杉山文野様（東京レインボープライド）、篠原淳様（アクセンチュア）、柴岡千穂様（ノキア）にご参加いただき、トランスジェンダー当事者として、ビジネスリーダーとして、また人事エキスパートとして、「なぜ企業において LGBTIQ+

インクルージョンを進めるべきか」議論していただきました。当事者の苦悩、また日本における LGBTIQ+ 人口の多様な要望（必ずしもカミングアウトを望んでいるわけではない）、リーダーとしていかにアライ（サポーター）を巻き込むか、LGBTIQ+ 以外の多様性についてなど、皆様の豊富な経験と知見を共有いただきました。

閉会の言葉をテオ・ペータース様（駐日オランダ王国全権公使）に賜りました。「職場は1日の多くの時間を費やす場所であり、誰もが安心・安全に感じられるような環境づくりが大事です。なぜならば、そう感じられればこそ、幸福度も増すうえに、仕事に集中できる環境が作られるからです。」参加者の皆様にも大いに共感いただけたことと思います。また、オランダにおいて、LGBTIQ+ インクルージョンとジェンダーの平等が、社会を豊かにしていく上で以下に重要であるか、またオランダ政府としても優先事項として取り組んでいることを述べられました。

今回の会議は Workplace Pride Foundation が企画・主催した会議ではございましたが、会員メンバー企業様、在日オランダ王国大使館の協力なしにはなしえない会議でした。ここに改めまして、メイン・スポンサーとして会場およびボランティア・スタッフを提供してくださったアクセンチュア様、共同開催に合意してくださったオランダ王国外務省、クラフト・ハインツ様、ユニリーバ様に深く感謝申し上げます。サポーターとしてご参加いただきました IFF 様、エイブリィ・デニソン様、ノキア様、リンドリル様、ソデクソ様、ご協力いただき、ありがとうございました。

個人的なことになりますが、私が 12 年前に留学目的でオランダに来た時、12 年後にこのような会議を日本で開催できるとは夢にも思っておりませんでした。在日韓国人として、またレズビアン当事者としての生きづらさと、自分が思い描く将来が日本では実現できないのではないかという不安から、日本を離れました。オランダで生活することで「普通に生きる」って、こんな感じなのかな？と初めて感じる瞬間が様々な生活の場面でありました。市役所で結婚証明が「さりり」と受理される、保育園であれこれ妻との関係性について質問されない、職場でも「私の妻はアメリカ人なんですよ」と何ごともなく言えて、同僚と週末のあれこれの話しができる……。例を挙げればきりがありません。国が違えば文化も違います。日本では誰もがカミングアウトを望んでいるわけではない現状もあると聞きます。「自分らしさ」を考える時、キラキラしたとても充実している私ではなく、「どんな形であれば、自分がそうありたいようにいられる」。そのような環境でこそ、自分らしさを模索できるのではないかと考えます。日本の職場においてもそのような日常が、より多くの人に「あたりまえ」になる日を実現するためにも、職場のみなさま（アライ）のお力添えを賜りたいと存じます。

Workplace Pride Foundation, プログラム・ディベロップメント・ディレクター

金由梨